

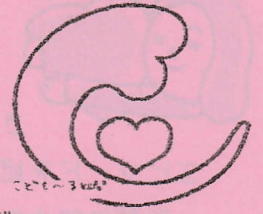
こども〜る鶴間通信 [No.153]



Mail



URL



《運営》
特定非営利活動法人
地域家族しんちゃんハウス



利用対象者

- ★乳幼児（0～3歳未満児）とその親（保護者）
- ★妊婦さん

- ☆子育て親子の交流つどいの広場の提供
- ☆子育てに関する相談・援助
- ☆地域の子育て関連情報の提供
- ☆講習会

《お問い合わせ》

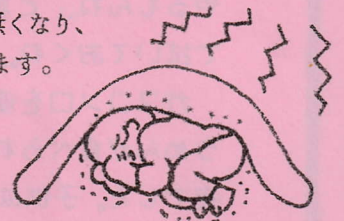
電話：090-3685-2288（こども〜るフォン）
 場所：イオンモール大和 4F（ライトコート側）
 時間：AM10:00～PM6:00（月曜日～日曜日）359日

6月はコロナ対策の為、休館です。

かつてのこども〜る利用者の方から先日こんなメッセージが届きました。
 世の中がいつもと大きく違う日々の今、皆様に読んでいただきたいと...

フラッシュバックで幼少期の自分を思い出したおばさんより、大人の皆様
 に知ってほしい子供の気持ち。コロナウィルスの影響で、みな余裕が無くなり、
 夫婦がいがみ合い、子供達の心が傷つく…。そんなニュースを聞く度に心がざわつきます。

父と母の怒鳴り声、頬を叩く音、泣き声…。
 布団の中で膝を抱えて、恐怖を感じてた4歳のときの自分を思い出します。



子供は、自分が悪い子だから父と母が喧嘩するんだね。自分が良い子になればいいんだ。と子供なりに考え、
 結果、大人に迎合（自分の考えをまげても、他人の意に従って気に入られるようにすること）するようになり、可
 愛気のない子供になって行く。子供らしくない子供の出来上がりです。

もう少し大きくなっていて、エネルギーのある子なら社会に反発する形で出て来るでしょう。
 エネルギーが外に向かえば、分かり易くていいですが、内側に向かうと自傷行為となる事や、メンタルを病んでし
 まう事もあるので大変です。自傷行為が過ぎると、自死してしまうかもしれません。そうなってからでは遅いのです。

仕事が減り、お金が入らなくなり、生活が厳しくなり、明日が、未来が見えなくなり、気持ちの余裕が無くなり、
 父と母が喧嘩してしまうのも、大人になった私なら理解出来ます。みんな大変だと思います。頑張っていると思ひ
 ます。でも、かつて4歳だった小さな子供の私には、難し過ぎて、なんで父と母が喧嘩するのか理解できません。
 私が悪い子だから喧嘩するの？ 子供の思考では、それが精一杯。

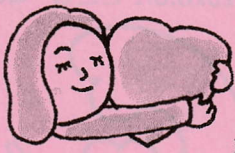
もう少し大きい子供は、愛されている実感が無ければ、愛を求めて外へ行き、偽りの愛に捕まり、ボロボロにされる。
 貴方は子供に、迎合されたいですか？
 貴方は子供の、身も心もボロボロにしたいですか？

テレワーク・収入減等、大人もストレスフルですが、子供の気持ち、思考、知ってほしい。
 まだ、人生経験足りないから、こういう風にしか考えられないの。
 パパ、ママ、僕のこと（私のこと）好き？ いい子にするから喧嘩しないで。

かつて4歳だったおばちゃんより。



世の中に子育てほど尊い仕事はありません。
私たちの未来を創ることであり、未来の幸せを可能にする仕事だから。



こころのワークショップに参加してみよう

2019.06より、月2回「こころのワークショップ」の勉強を続けてきました。自身では無意識ですが、子供との接し方に変化があり、そのエピソードを紹介します。



新型コロナウイルスの影響で、長いお休みになっている新小5年の末娘。毎日、自宅待機で過ごしています。一人で過ごすうちに、料理に興味が出てきたようで、お昼を自分で作っています。

先日、「お昼、食べたの？」と連絡をすると「そうめんにしたよ」というメッセージとそうめんの写真。平年より暑い日だったので、大好きなそうめんをゆでたようです。「びっくり！！」とお返事して、子供に感心しました。

その日の夜、一緒にお風呂に入っている時、娘が「今日、焦ったんだよ」と。きくと、末娘が扱いやすい我が家で一番小さい鍋でそうめんをゆでようとして準備。その際に、鍋からはみ出した乾そうめんにガスコンロの火が引火。燃え上がったそうです。「その時、どうしたの？」ときくと、「コンロを消して、箸で燃えているそうめんをすくって、水の張ってある洗い桶に落とした。ほっとしたら、別の場所でも燃えてて、同じことをしてやっと消えたから、またゆでた」と。

「そうなんだ。コンロを消せるってすごいね」と私。するとさらに「あ、あとガスコンロを汚しちゃったんだ。あっという間だね。吹きこぼれるのって」と続けました。「でもさ、吹きこぼすのは、お母さんもやるもんね。」と言われ思わず吹き出す私。「たしかにやるね。じゃあガスコンロはベタベタだね。あとで拭いておくね。」という、「あ、ありがとう」と言われました。

ガスコンロを使い、火事の末遂、コンロを汚すなど、あらあらと思うことでしたが、結果、美味しくそうめんが食べられて、家も燃えてなくてよかったと子供が寝てから、コンロの掃除を微笑みながらした夜でした。子供は、縁が有って子供ですが親の所有物ではなく、一個人だということを気づかせられた。

このまま、のびのびと育てたいと思いますし、その成長を見守れる「こころの基地」を作りたいと思います。

相談員 小見裕恵

こころのワークショップでは、部屋の中で行き詰まっている子育て中のお母さんを対象に電話相談室を始めました。無料開設中です。

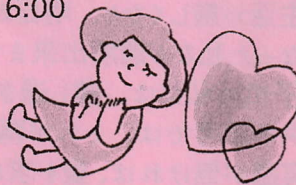


こころのワークショップは月2回 10:30～16:00

西鶴間しんちゃんハウスで行っています。

体験学習もあります。

お問い合わせ／090-5807-5673



【相談員】

・カウンセラー福田京子（HP参照）
090-4222-7656

・保育士（ヨガ指導員）小林
090-8170-9278

・あゆみ助産院 小見
080-5640-5046

※30分単位とさせていただきます。

※大和市在住の方限定

※匿名でもOKです。



新小学校5年の末娘さんとは1年前にお会いしました。とても人見知りな物静かな子です。

学校や児童クラブでお友達に掛けられる言葉にとっても敏感に反応してしまい、しんちゃんハウスに通いたいと言っていた子です。館合も冷たいもので同情はしません。「今の状況を乗り切らなければどこに行っても同じこと」と伝え、悩んだんでしょね。自分なりに1つずつ1つずつ消化して行きました。大人に交じりこころのワークショップで照れながら恥ずかしがりながら、お腹に声を掛けてもらったり頭に声を掛けてもらったりするワークで本当に嬉しい事、大切な事を学んだようです。自分が気になる身体の部分に手を当ててもらい心地よくなる事も学びました。親子共々なにがあったっていいじゃない！表面的な事で怒ったり叱ったりするより認めてあげて、落ち着いて行動できた事に素直に「びっくり！」「すごいね！」「どうしたの？」と声を掛けられる様になったお母さんもすごい成長。1年でこれだけ変わるなんてすごい！

理事長 館合みち子